

## 第9回「学びの共同体」公開授業研究会

去る12月17日（月）に“第9回「学びの共同体」公開授業研究会”を本校で開催しました。「学びの共同体」が推進する「協同的学び」を授業に導入して4年目になりますが、今回が今年度2回目の研究会となりました。全国各地から多くの学校関係の方が本校を訪れ、参加者総数106名の大きな会となりました。特に北海道からは「学びの共同体」導入を検討中の高校、福岡県からは、今学期から協同学習を導入したばかりの高校からも大勢の参加があり、西彼杵高校が今や「学びの共同体」の先進校としての役割を果たしていることを改めて感じました。

公開授業では全クラスの授業を公開しましたが、今回は体育、演奏研究などの実技科目も授業を公開しました。中心授業では宮本友樹先生による2年1組「物理基礎」の授業を公開しました。

麻布教育研究所特別研究員で、「学びの共同体」スーパーバイザーの永島孝嗣氏を講師にお迎えし、西彼杵高校の現状と、「学びの共同体」の理論と実践を交えたお話をいただき、大変有意義な時間となりました。

生徒たちの授業のはじめから終わりまで学びに向かう姿に、参加された多くの先生方から驚きと賞賛の言葉を多数いただきました。

西彼杵高校は一人残らず学びに向かい合う学校。今回の研究会で学んだことを、生徒の学びへ還元し、地域の学びのセンターとして、更に教育活動に力を入れて行きます。

